

河川 総合水質評価について

評価方法：

平塚市では、市内の河川23地点で水質測定を行っている。そのうち、市独自で行っている21地点については、総合水質評価を行っている。

総合水質評価とは、4つの検査項目について検査結果を点数化し、その総得点により水質の汚濁状況を評価するもの。

【総合水質評価に用いる水質検査項目】

- | | |
|----------|---|
| DO | 溶存酸素量(水に溶けている酸素量のこと)
この数値が高いほど水中に溶けている酸素量が多く、生物がすみやすい良い水質であるということになる。 |
| BOD | 生物化学的酸素要求量(有機物が微生物の働きによって分解されるときに必要な酸素量のこと)
数値が高いほどDOが欠乏しやすくなり、水質が汚れていることになる。 |
| リン酸態リン | 植物の栄養となるようなリンを含む塩類のこと。
数値が高いほど水質が汚れていることになる。 |
| アンモニア性窒素 | 水中にアンモニウム塩として含まれている窒素のこと。
し尿や家庭下水中の有機物の分解や工場排水に起因するもので、水質汚染の有力な指標となる。
数値が高いほど水質が汚れていることになる。 |